



“心豊かに
笑顔あふれる”

青森県
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.
117

令和2年10月15日

大学生とカタル！キャリア形成サポート事業

～感染症拡大防止対策を講じながら～

自らの夢に向かって主体的に行動できる人財を育成するために、当センターでは、大学生が高校生の将来をともに考えるワークショップ「キャリアサポ」を実施しています。平成30年度からは、中学生を対象にした「Jr. キャリサポ」の開催も始まり今年度で3年目の実施となりました。

ワークショップでは、中学生、高校生がグループを作り、大学生と車座になって自分の夢や将来について真剣に語り合います。また、「カタル」という大学生の体験談を聞くことで、自らの考えを深めます。参加した中学生、高校生は、このような活動を通して今と将来の自分について考え、夢の実現へ向けての目標を設定したり、日常生活、学校生活での悩みを解決する糸口をみつけたりしていきます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら次のような形で実施しています。大学生との会議や打ち合わせでオンラインツールを活用しています。また、事前の研修会で会場に集まることができないときには、大学生に研修動画を配信して、視聴後にレポートを提出してもらう形式で実施しました。

実施校でのワークショップでは、参加大学生はマスクとフェイスシールドを着用します。また、3密を避けるという観点から2つの体育館を使用しての2会場同時進行など新しい生活様式に対応したワークショップを実施しています。

今年度は、県内の高等学校14校と中学校1校の計15校で「キャリアサポ」及び「Jr. キャリサポ」を実施しています。

この事業に参加する大学生は、研修で学んだことを実践し、主体的に交流しながら準備を進めます。そして、ワークショップでの「中学生、高校生との語り合い」を通して、大学生もコミュニケーションやファシリテーションの能力を向上させることができます。今年度は、感染症拡大防止対策や新しい生活様式に対応した実施のために様々な工夫やアイデアを出し合いながら準備を進めることで、さらなる成長を見せています。例年のように進めることができない難しい状況の中でも、今の自分たちにできることに全力で取り組む姿は大変頼もしいです。



＜オンライン会議での打合せ・配信した研修動画＞



＜感染症拡大防止対策を講じてのワークショップ実施＞

青森県総合社会教育センター



〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <https://www.als.pref.aomori.lg.jp/>

コロナに負けず、只今実施中！！

家庭教育応援隊養成講座 online！

この講座は、地域全体で家庭教育を支援する体制を整備するため、各地域で子育てを応援する家庭教育支援者やリーダーを育成することを趣旨として行っています。家庭教育支援者を目指す人及び活動中の人、家庭教育支援に関心のある人、読み聞かせ団体スタッフ、市町村の家庭教育担当者等を対象に、年間で全6回、家庭教育支援についての講義・演習で構成しています。

今年度は西北地区と中南地区の2地区を会場に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場に集合することなく、オンラインによって自宅等で受講できるように配慮しました。これによって移動に伴う様々な負担も少なくなります。そのため、対象地域だけでなく、県内一円からの受講申込みをいただきながら、10月30日現在、第5回まで終了しております。

詳しい様子につきましては、当センターホームページ内の「終了事業アーカイブ」で紹介しております。右下のQRコードを読み込むと、当該ページに入ります。どうぞご覧ください。



高校生スキルアッププログラム推進事業



土曜日や日曜日、長期休業中に、学校外で実施されている様々な活動に進んで参加し、自らのスキルの向上を目指す高校生を応援するプログラムです。

変化に柔軟に対応できるたくましい高校生



※R2 参加生徒 2,684名(9月現在)

高校生のために各種情報の提供をお願いします！

当センターでは、高校生が参加可能な各種学習・活動情報を収集し、高校生へ情報提供しています。当センターホームページより、各種学習・活動情報 FAX 送信票をダウンロードできます。→<https://www.alis.aomori.lg.jp/>「ダウンロード」をクリック！

【問合せ】育成研修課 017-739-1253

またはこちら



「地域学校協働活動推進のための研修」

7月28日（火）、市町村教育委員会担当者、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、教職員等を対象に、「地域学校協働活動推進のための研修」を開催しました。本研修会は、「地域学校協働活動」の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図るための研修です。今回は、**岐阜県大野郡白川村教育委員会事務局 社会教育主事 新谷さゆり氏** を講師にお迎えし、講義をしていただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、岐阜県と会場を繋ぐ、オンライン研修の形で実施しました。

講義では、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動のねらいや意義、また、新谷氏が担当された白川郷学園コミュニティ・スクール立ち上げについてお話いただきました。これまでの実践や経験を踏まえたお話は、地域学校協働活動推進の重要性や価値について改めて考えさせられるものでした。演習では、各市町村で行われている地域学校協働活動を進めるにあたっての課題を出し合い、その課題解決について話し合うグループワークを行いました。演習時間が短いながらも、各市町村同士の貴重な情報交換の時間になりました。

【講義】「地域と学校の連携・協働の推進～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」

岐阜県大野郡白川村教育委員会事務局 社会教育主事 新谷 さゆり 氏

- (1) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について
- (2) なぜ今コミスクなのか
- (3) 共通の願いに向けて地域がやるべきこと
- (4) 白川村の担い育て
- (5) 地域と学校がつながることとは？
- (6) 持続可能なコミスクポイント



「学校と地域・企業等をつなぐコーディネーターのスキルアップ研修」

8月4日（火）、学校・家庭・地域が連携・協働して地域の子供を育むために、学校と地域住民・企業・NPO・各種団体等をつなぐ教育支援活動コーディネーター等のスキルアップと人財の拡充を図ることを目的とした「学校と地域・企業等をつなぐコーディネーターのスキルアップ研修」を開催しました。県内6教育事務所管内を、年度ごとに2地区で開催し、3年間をかけて全管内で実施する研修会です。昨年度は、西北地区と三八地区で行い、今年度は、中南地区と下北地区で実施しました。下北地区は、受講者と中南地区会場をつなぐオンライン研修の形で実施しました。

今回の研修は、学校や児童センターなどで子どもにかかわるボランティア活動に約15年間携わり、キャリア教育支援プログラム「子どもと大人の学びあい」を岩手県内各地の小・中・高校をはじめ自治体等で実施しているらっしゃる**特定非営利活動法人未来図書館主任コーディネーター 恒川かおり氏** を講師としてお迎えし、講義・演習をしていただきました。前半の講義では、未来図書館のミッション映像をもとに、未来図書館が岩手県内の小・中学校・高校で行っているキャリア教育支援について紹介していただきました。後半の演習では、未来図書館で行われている「かだるプログラム」を体験しました。各グループで様々な交流が行われ、受講者の皆さんはプログラムの良さを実感していました。

【講義・演習】「小さな気づきが未来を変える～あなたの物語を待つ子どもたちがいる～」

特定非営利活動法人未来図書館主任コーディネーター 恒川 かおり 氏

- (1) 未来図書館のミッション
- (2) 時代の変化～未来図書館が活動する訳～
- (3) 21世紀を生き抜くために～未来図書館活動紹介～
- (4) 演習「かだるプログラム」体験



オンラインでできること 「寺子屋オンライン」開催中!

—寺子屋オンラインとは—

今年度、集団でレクリエーションなどの交流活動を行うことが難しいことから、web 会議システムを使用し、双方向通信によるレクリエーションや対話など、昨年度まで開催していた「寺子屋ありす」をオンライン上で開催し、参加者同士が繋がりを持つことができるプログラム「寺子屋オンライン」を実践しています。



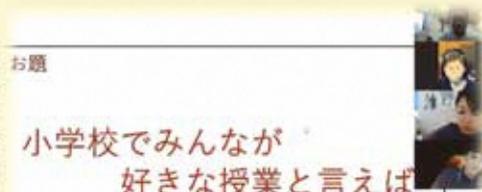
レクリエーションを楽しむ様子



高校生・大学生とのミーティング

—高校生・大学生が企画・運営—

高校生・大学生が自宅からオンラインで参加し「Zoom」でどんなことができそうか、どんなルールが必要かなどを実際に操作しながら話し合いました。「Zoom」を初めて使用した高校生・大学生も多くいた中、「顔を見ながら話せるので、オンラインという壁がないくらい楽しめた」「色々なレクができそうでわくわくした」など、若者の発想によるオンラインの特性を生かした活動について、話し合っていました。



レクリエーションを楽しむ様子

今後も月1、2回程度「寺子屋オンライン」を開催する予定です。開催予定は、当センターホームページで御確認ください。小学生の参加だけでなく、興味のある大人の見学も受け付けておりますので、興味をお持ちの方は気軽にお問い合わせください。

—ナナメの関係から育まれる成長—

小学生から大学生までを対象とした、学校や家庭とは違う異年齢集団での活動から、様々なことを学んでいきます。高校生・大学生は企画・運営する中で責任感を身に付け、小学生・中学生は高校生・大学生の頑張る姿を見て将来の自分がなりたい姿への思いやあこがれを抱いていきます。

—県内各地からの参加—

レクリエーションでは、全員で参加する「お絵かきリレー」や「以心伝心ゲーム」の他に、「Zoom」の機能を使い小グループに分かれて高校生・大学生との会話を楽しんだり、グループで話し合うゲームを行ったりしました。回を重ねる毎に、青森市内だけではなくむつ市や六戸町、六ヶ所村からも小学生が参加してくれています。

【保護者の感想】

- 居住地には大学がなく大学生と関わる機会がないので、大学生と話すことで子どもの世界が広がると思いました。
- 文字数やイラストの使い方など小学生対象に工夫されていると感じました。
- 高校生や大学生からいろんなことを学んだのでそれを活かしてほしいと思いました。



《青森県総合社会教育センターシンボルマーク》

人づくりの拠点として、県民の生涯にわたる学習の輪が、和を持って限りなく広がっていくことを願いとしています。家庭、学校、地域社会が一体となる姿を表現するとともに、色を緑色とし、伸びゆく緑豊かな青森県を表しています。